

2 巻頭言

特集原稿

- 6 「猫」からの脱出
——日露戦争と作家としての出発
柴田勝二
- 30 イスラム的に消費するということ
——ハラール概念の変容とその意味
八木久美子
- 44 レオン王国への聖イシドルス聖遺物奉還
(一〇六三年) 再考
久米順子

報告

- 58 収容所のホモ・サケル
——ロベール・アンテルムをめぐって
セルゲイ・ゼンキン／森元庸介訳
- 75 三つのムーヴメント
マッシモ・リッツァンテ／森元庸介訳

新刊紹介

- 84 アントニオ・タブッキ著／和田忠彦訳
『時は老いをいそぐ』
時間の声
桑田光平
- 88 マシャード・デ・アシス著／武田千香訳
『プラス・クーバスの死後の回想』
新奇な正統派
柳原孝敦
- 92 セサル・アイラ著／柳原孝敦訳
『わたしの物語』
胎内の夢
石井沙和
- 95 桑田光平著
『ロラン・バルト——偶発事へのまなざし』
エピクロスの子のように
松浦寿夫